

化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会
第 24 期・第 4 回会議議事録

■日 時：2018 年 11 月 27 日（火）9:30～10:45

■会 場：日本学術会議 6 階 6-A(1)会議室

■出席者：（敬称略）

阿尻・所・工藤・北川・椿・都留・藤岡（沙）・藤岡（恵）・藤田・宮崎・野田（スカイプ）

■欠席者：（敬称略）

安保・井藤・岩澤・大河内・後藤・近藤・関根・辰巳・辻・平尾・三浦

■配布資料：資料 1 前回議事要旨（案）

資料 2 前回議事メモ（案）

資料 3 公開シンポジウム提案書「炭素・水素・酸素・窒素の循環」

資料 4 意志表出のテーマ分担

■議 題

1. 前回議事要旨（案）の確認について

既にメールにて確認後、WEB 掲載済

2. 今後の公開シンポジウム企画案について

- ・工藤幹事から、資料 3 に基づき、関根委員と共に企画している公開シンポジウム「(仮題) サステナブルな社会のための炭素・水素・酸素・窒素の循環」の説明があり、これについて意見交換を行った。開催日を 4/12（金）で確定し、シンポジウムの実施が承認された。
- ・阿尻委員から材料工学委員会との連携に関する説明があった。幹事会でシンポジウムなどの承認を得る際に、本分科会の親委員会である化学、総合工学、材料工学の 3 つから承認を頂く必要がある。しかし、材料工学委員会に所属する委員がいないため、本分科会の活動状況などを報告・説明する人がいない。そのため、連携が弱いことが問題となっており、材料工学委員会から本分科会にオブザーバーを出したいという要望がある。これについて意見交換を行った。

3. 本日の公開シンポジウム開催について

藤岡恵子委員から、本日の公開シンポジウム「次世代エネルギー社会の超低炭素化に向けた課題とチャレンジー温室効果ガス 80%削減のフィージビリティとリアリティについ

て考える(2)ー」の説明があった。今後、シンポジウムの内容を「学術の動向」の記事に纏めることとした。

4. 意思の表出にむけての議論について

北川幹事から、資料4に基づき、前回の分科会で提案された6つのテーマに対する分担者の希望状況が説明された。これについて意見交換を行ったところ、テーマの重なりもあるため、下記の表に示すように、大きく3つに分け、それぞれのまとめ役を決めた。

テーマ	分担
① 物質循環（資源効率）	◎関根、藤田、辰巳、宮崎、後藤、所、阿尻
②未来のエネルギー・CO2 排出削減	◎藤岡恵子、藤田、辰巳、椿、都留、工藤、関根 安保、所、阿尻
③未来の化学産業、技術開発のための新たな手法（社会実装）、SDGS のための化学	◎野田、藤田、辰巳、都留、関根、北川、藤岡沙都子、所、阿尻

5. その他について

- ・次回の第5回分科会は12/27(木)午後14:30～15:25開催、同日は全体会議が10:30～11:20、その後2つの講演会11:20～12:10、13:20～14:10が行われる予定。
- ・第6回分科会は、3、4月に1泊2日で開催予定。後日、北川幹事より日程調整を行う。

以上